

## （安心して住み続けるまちづくりモデル－3）

### 市民 × 地域企業 × 行政による持続的な遠隔見守りネットワーク構築 （神戸市）

#### 〔事業概要〕

神戸市は平成28年4月、株式会社NTTドコモと事業連携協定を締結しました。連携事業の1つとしてBLEタグ（\*1）を活用した見守り実証事業「神戸市ドコモ見守りサービス（実証事業）」を実施しています。

本サービスは、BLEタグを持った小学生や高齢者が、定点に設置された受信機（\*2）やBLEタグから情報を受信する機能を備えたアプリケーション（見守り応援隊アプリ）を搭載したスマートフォンのそばを通過することで、タグのID情報と位置情報をサーバーに送信し、保護者が子どもや高齢者の位置情報をスマートフォンで確認できるシステムです。

平成28年9月から実証事業として開始し、順次対象校や協力事業者の拡大を図ってきた結果、現時点で対象小学校は5校、サービス利用者は全体で600世帯、協力事業者・団体数は48となっています。

（\*1）BluetoothLowEnergyなる省電力近距離無線技術を用いたタグ

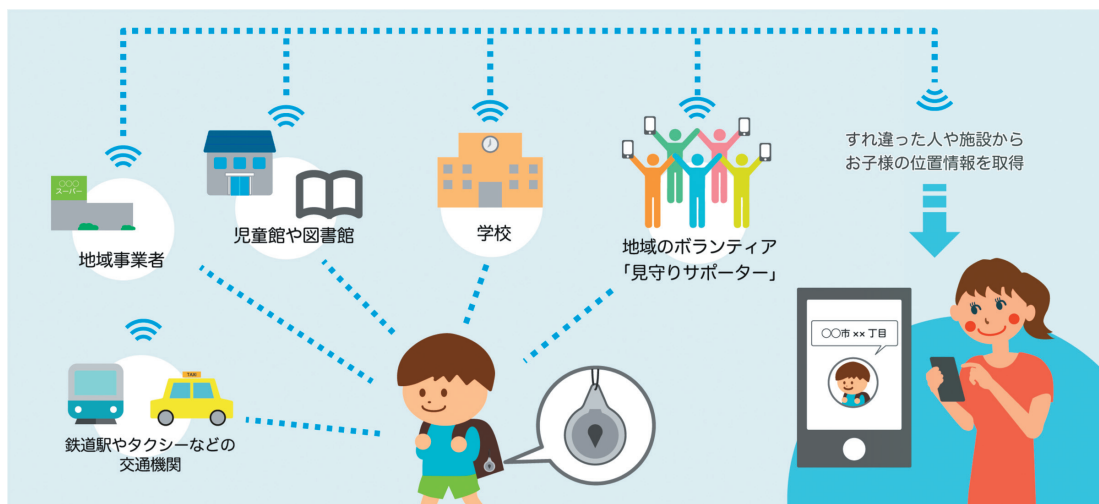
500円玉ほどの大きさで軽量かつ長寿命（1年程度電池交換不要）で電波を定期的に約30m圏内で発射

（\*2）学童、図書館、駅、協力事業者事務所・店舗、商店街等 約110箇所に設置

#### 〔コラム〕

##### ① システム概要

- ・超小型のBLEタグを子どもや高齢者等に配布
- ・市民や企業社員が持つスマートフォンと公共施設や店舗などに設置した検知センサから構成される検知ネットワークにより検知され、現在の居場所を親・家族等に通知



（イメージ図）

② 事業展開による効果・成果

- ・BLEタグを活用することで、従来のGPSでの見守りに比べて簡易・安価なシステム構成を実現
- ・BLEタグの小型軽量さを活かし様々な所有物に付与することで、行動カバー範囲を拡大
- ・検知センサに市民や企業社員のもつスマートフォンのBLE機能を活用することで、安価かつ広域な検知ネットワーク拡大を実現

③ 事業展開のポイント

レシーバーとしてのスマートフォンの活用や、公共施設や店舗などに設置した検知センサから位置情報を3G網/Wi-Fiを活用しクラウドに送信し一連のシステムを構築するなど、ICTを効果的に利活用しています。

従来のGPSのみを活用した見守りサービスと比較し、利便性、検知ネットワークの持続性、検知センサとしてのスマートフォンへの電池影響の低減、コストの低減を達成し、民間の持続的協力を得られる仕組みを実現しています。

## 見守りサービス4つの特徴

**特徴 1** 王子公園 王子  
スマホでお子様の居場所を確認できます。

**特徴 2** 学童・児童館 図書館 駅  
お子様が学校だけでなく地域施設にいることがわかります。

**特徴 3** スーパー TAXI  
さまざまな地域事業者の方が協力してお子様の居場所を教えてください。

**特徴 4** スーパー TAXI  
地域の方もすれ違いによる見守りに協力でき、地域貢献につながります。

[問い合わせ先]

- ・神戸市企画調整局創造都市推進部ICT創造担当  
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
- ・電話番号/FAX番号：078-322-6462/078-322-6051
- ・e-mail：ict-sozo@office.city.kobe.lg.jp